

CDP気候変動2021 回答に向けて（詳細版）

C2 リスクと機会

2021ウェビナー
CDP事務局

本ウェビナーについて



- ▼ CDP回答ガイダンス、スコアリング基準、スコアリングイントロダクション等の内容に沿って説明しています。これらの情報は、ウェブサイトに掲載しています。
- ▼ スコアリングの詳細についてもご紹介していますが、スコアリングの基本については、スコアリングイントロダクションの文書やウェビナーをまずご覧ください。
- ▼ 本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

CDP気候変動質問書および回答ガイダンス2021 ([リンク](#))

CDP気候変動質問書スコアリング基準2021 ([リンク](#))

※右上の「言語/language」ボタンより言語を変更いただけます。

回答の際の注意点



- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- 「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください」
- 「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain（説明してください）**や**Description（～の説明）**は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。
- ▼ 回答は提出時の御社の状況ではなく、C0.2の報告年の時点でどうであったかでご記載ください。自社にとって重要な意思決定や取り組み事例について、報告年よりも以前のことであったとしても、報告年の戦略や方針に関係のあるものであればご記載いただけます。その際、その報告年以前の取組の結果、報告年時点ではどのような状況になっているのかの進捗もご記載いただくことでよりよい情報開示となります。

回答の際の注意点

(文章記述欄：自社固有／ケーススタディ／事例)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的影響、定量的なデータ、自社の具体的な（いつ、どこで、どれくらいの規模で）取り組み、固有の製品／サービス等について、**自社のみに当てはまる内容**を記述してください。自社固有の説明は、一般論として回答しているのではなく、回答企業が環境関連の問題を自社のビジネスの文脈の中で十分に検討していることや、実際にアクションを起こしていることを示すために有用です。

▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「**Situation-Task-Action-Result (STAR)**」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況 (**Situation**) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (**Task**) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (**Action**) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (**Result**) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

ケーススタディの中には、**できるだけ多くの自社に固有の (Company-specific) 情報、具体的な時間(いつ)と場所の情報(どこで)**を含めてください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記の**STAR**アプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

セクター別質問書

- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されています。セクター別の質問は、質問番号に各セクターを示すアルファベットが付記されています。
- ▼ セクター別のスコアリング基準が設定されており、セクターの特徴に沿ったスコアリングが実施されます。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（CDPのセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。（該当するセクター別質問は、各プログラム共通です。）
- ▼ セクター別質問に該当しない場合、[一般]セクター質問書に回答いただきます。

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
<ul style="list-style-type: none">農産品(AC)食料・飲料・タバコ(FB)製紙・林業(PF)	<ul style="list-style-type: none">石炭(CO)電力(EU)石油・ガス(OG)	<ul style="list-style-type: none">金融サービス(FS)	<ul style="list-style-type: none">セメント(CE)資本財(CG)化学(CH)建設(CN)金属・鉱業(MM)不動産(RE)鉄鋼(ST)	<ul style="list-style-type: none">輸送サービス(TS)輸送機器製造(TO)

注：本ウェビナーではセクター別質問の詳細については割愛しています。

ウェブサイト上の回答ガイダンスやスコアリング基準のページからセクター固有の情報をご確認ください。

C2 リスクと機会／Risks and opportunities

C2.1 気候関連リスクおよび機会を特定し、評価し、およびそれに対応するプロセスを有していますか？



C2.1a 御社は短期、中期、および長期の時間的視点をどのように定義していますか



C2.1b 御社では、事業に対する財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。

C2.1で[はい]



C2.2 気候関連リスクおよび機会を特定、評価する、およびそれに対応するプロセスについて説明してください。



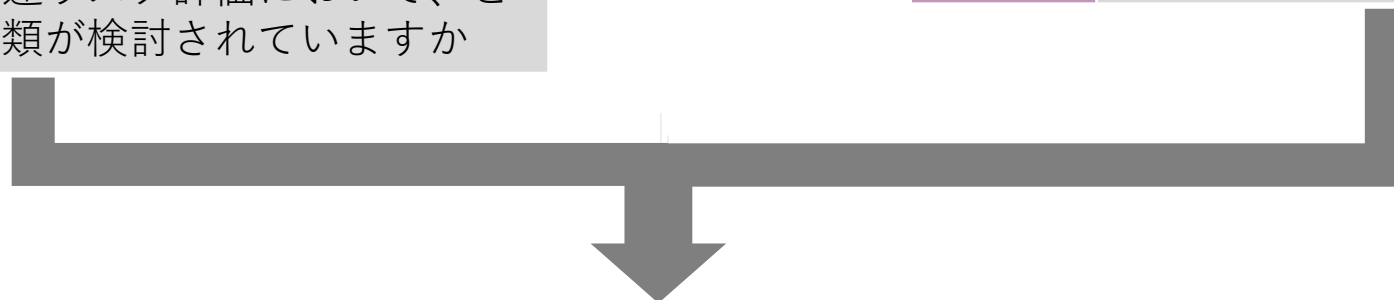
C2.2a 御社の気候関連リスク評価において、どのリスクの種類が検討されていますか

C2.1で[いいえ]



C2.2g

なぜ、気候関連リスクと機会を特定、評価する、および対応するためのプロセスを導入していないのですか、また将来そのようなプロセスを導入する予定はありますか。



C2 リスクと機会／Risks and opportunities

C2.3 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性がある潜在的な気候関連リスクを特定しましたか

C2.3で[はい]



C2.3a

御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクを記入してください。



C2.4 御社の事業に重大な財務上・戦略上の影響を及ぼす可能性がある気候関連機会を特定したことがありますか

C2.4で[はい]



C2.4a

御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるとして特定された機会の詳細を記入してください。



C2.3で[いいえ]



C2.3b

なぜ、御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性がある気候関連リスクにさらされると考えていないのですか。



C2.4で[はい、機会を特定したが、それを実現できない]／[いいえ]



C2.4b

御社に気候関連機会があると考えない理由は何ですか。



モジュール終了

C2.1 気候関連リスクおよび機会を特定し、評価し、およびそれに対応するプロセスを有していますか？

- 気候関連リスクや機会を特定し、評価し、対応するプロセスがある場合
⇒ **[Yes]** を選択 ⇒ C2.1a, 2.1bの後、C2.2、2.2aへ
- 気候関連リスクや機会を特定し、評価し、対応するプロセスがない場合
⇒ **[No]** を選択 ⇒ C2.1a, 2.1bの後、C2.2gへ

完全なプロセスでなくても、気候関連リスクおよび機会を特定し、評価し、対応するための何らかのプロセスがある場合は、[Yes]を選択してください。

C2.1a 御社は短期、中期、および長期の時間的視点をどのように定義していますか

短期、中期、長期は連続するような数値を記載してください。
(Aレベル)

Time horizon	From (years)	To (years)	Comment
Short-term	Numerical field [enter a number from 0-100 using no decimals or commas]	Numerical field [enter a number from 0-100 using no decimals or commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
Medium-term			
Long-term			

【OKな回答例】

	開始	終了
短期	0	3
中期	3 or 4	10
長期	10 or 11	空欄でも構いません

【NGな回答例】

	開始	終了
短期	1	3
中期	1	5
長期	1	10

- 「前の期間の終了」と「次の期間の開始」が1年重なる形式でも、1年ずれる形式でも構いません。
- 「長期」の「終了」の欄は数値を入れていただいても空白(終了期限なし)でも構いません。

企業がどのような時間スケールで、気候変動関連の問題をリスク評価や事業戦略の中で捉えているかは、提供している製品/サービスや活動している地域等、置かれた状況によって企業ごとに異なります。後続の設問(C2/C3)の中で考慮された時間スケールについて尋ねられますので、御社がどのように時間スケールを捉えている（定義しているのか）を、こちらの設問の中であらかじめお示しください。データユーザーが御社の回答を正しく理解する上で、不可欠な情報となります。



C2.1b 御社では、事業に対する財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。

以下の点を踏まえて、気候関連リスクに関連して、企業レベルでの事業に対する「重大な影響」を定義する方法について詳細に述べ、定量的に「重大な影響」と判断するための閾値をお示してください。

- 気候関連リスクを特定または評価する時の「重大な財務上または戦略上の影響」の定義
- 重大な財務上または戦略上の影響を定義するために使用された定量化可能な指標の説明 (Mレベル)

【NG回答例】 ※定量化された指標ではない

気候関連リスクが収益に及ぼす影響が極めて大きいと考えられる場合に、重大な影響とみなしています。

後続の設問(C2.3/C2.4)の中では、御社にとって財務また戦略面で重大な影響があると判断されたリスク及び機会について開示することが求められます。何をもって重大な影響であると判断しているのかは企業によって異なります。御社がどのように重大な影響を定義しているのか、こちらの設問の中であらかじめお示してください。データユーザーが御社の回答を正しく理解する上で、不可欠な情報となります。

C2.1 スコアリング基準

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.1	いずれかの選択肢を選択している		1	[Yes]を選択 - 1点 [No]を選択 - 0点		1		0	0		0	0
2.1a	短期と中期の欄で [開始]と[終了]の欄 を両方回答 - 1点×2 長期の欄で[開始]を 回答 - 1点		3	短期、中期、長期 が連続した時間軸 になっている - 3 点		3		0	0		0	0
2.1b	回答を記述 - 1点		1		0	0	情報開示スコアが満点 i) 気候関連リスクを特定または評価 する時の「重大な財務上または戦 略上の影響」の定義を記載 ii) 重大な財務上または戦略上の影 響を定義するために使用された定 量化可能な指標の説明		2		0	0

C2.2 気候関連リスクおよび機会を特定、評価する、およびそれに対応するプロセスについて説明してください。

※C2.1で[Yes]を選択

Value chain stage(s) covered	Risk management process	Frequency of assessment	Time horizon(s) covered	Description of process
Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Direct operations Upstream Downstream 	Select from: Lレベル <ul style="list-style-type: none"> Integrated into multi-disciplinary company-wide risk management process A specific climate-related risk management process 	Select from: Lレベル <ul style="list-style-type: none"> More than once a year Annually Every two years Mレベル Every three years or more Not defined 	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Short-term Lレベル Medium-term (全て) Long-term None of the above/Not defined 	Text field [maximum 7,000 characters]

[Add Row]

- 5列を全て回答してください。すべての欄が回答されていることがAレベルで満点を取るために必要です。C2.2のAレベルで満点を取得していることが、後続のC2.3aのMレベルで評価を受けるための前提条件となります。
- 複数の回答がある場合は[Add row]をクリックして回答行を増やしてください。複数行回答した場合、情報開示・認識レベルでは全行が、マネジメント・リーダーシップレベルでは最も高得点となる行が採点されます。
- 4列目のTime horizon(s) coveredはC2.1aと関連付けてご回答ください。
- 5列目に関して、ケーススタディは最低でも2つあることが高評価のために必要である。1つは物理リスク(もしくは機会)に関するケーススタディ。もう1つは移行リスク(もしくは機会)に関するケーススタディ。※物理リスク/移行リスクの意味については、C2.2aの説明をご参照ください。

- 重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性があるリスクと機会を特定するために使用されたプロセスの説明
- プロセスをどのように物理的リスクおよび/または機会に適用したかのケーススタディ
- プロセスをどのように移行リスクおよび/または機会に適用したかのケーススタディ

(Mレベル)

リスク管理プロセス

特定 Identification

潜在的なリスクの洗出し

評価 Assessment

洗い出したリスクの将来的な影響度や頻度等を考慮した分析

対応 Response

分析結果を考慮した対応：リスクの回避・軽減・移転・受入等

C2.2でのフォーカス

C2.3aでのフォーカス

- **C2.3a**では重大な影響があると判断されたリスクについて、そのリスクの説明とリスクへの対応の記載が求められます。一方、こちらの設問(**C2.2**)では、リスクを特定/評価をする部分も含めたプロセスをご回答いただきます。
- こちらの設問のケーススタディ(Mレベルの評価要件)を記載する際には、御社の保有するプロセスを実際に使用しリスクが特定/評価されていることを具体的にお示しください。分析の結果として明らかになったリスクの説明では不十分であり(これは**C2.3a**で回答いただきます)、プロセスを使ってそのリスクが明らかになるまでの特定/評価の過程を含めてください。
- ケーススタディを書く際は、冒頭でご紹介したSTAR構造を意識していただければと思います。



C2.2a 御社の気候関連リスク評価において、どのリスクの種類が検討されていますか。

※C2.1で[Yes]を選択

Risk type	Relevance & inclusion	Please explain
Current regulation	Select from: <ul style="list-style-type: none">Relevant, always includedRelevant, sometimes includedRelevant, not includedNot relevant, includedNot relevant, explanation providedNot evaluated	Text field [maximum 2,500 characters]
Emerging regulation		
Technology		
Legal		
Market		
Reputation		
Acute physical		
Chronic physical		

C2.2a 御社の気候関連リスク評価において、どのリスクの種類が検討されていますか。

リスクの種類		
移行 リスク	現在の規制	気候変動を悪化させるような活動を制限する、または気候変動への適応を促進するような政策によるリスク
	新たな規制	
	技術	低炭素でエネルギー効率の高い経済システムへの移行をサポートするような技術の改善またはイノベーションに関連するすべてのリスク
	法的	気候関連の 訴訟リスク （注：規制などの法律に関するリスクは、現在の規制または新たな規制の欄に記載してください）
	市場	特定の商品、製品、サービスの需要と供給の変動に関するリスク
	評判	低炭素経済への移行に向けた貢献や阻害に対する、顧客やコミュニティの認識の変化に関するリスク
物理的 リスク	急性の物理的リスク	突発的な事象に起因するリスク（サイクロン、ハリケーン、洪水といった極端な異常気象が含まれる）
	慢性の物理的リスク	気候パターンの長期的変化（高い気温が持続）による海面上昇や慢性的な熱波などによるリスク

各リスクについて、以下を判断して回答してください。

- 自社に関連があるのかないのか（Relevant / Not relevant）
- リスク評価に含めているか、含めていないのか（Included / Not included）
- 自社への関連性を評価していないのか（Not evaluated）

C2.2a 御社の気候関連リスク評価において、どのリスクの種類が検討されていますか。

※C2.1で[Yes]を選択

Risk type	Relevance & inclusion	Please explain
Current regulation	Select from: <input checked="" type="radio"/> Relevant, always included <input checked="" type="radio"/> Relevant, sometimes included <input type="radio"/> Relevant, not included <input type="radio"/> Not relevant, included <input type="radio"/> Not relevant, explanation provided <input type="radio"/> Not evaluated	Text field [maximum 2,500 characters] [Relevant, always included], [Relevant, sometimes included], [Not relevant, included] • リスクの事例を説明 (Mレベル)
Emerging regulation		※こちらでできるだけ詳細にご記載ください。また「機会」に関する説明ではない点にご注意ください。 [Not relevant, explanation provided] • なぜ自社に関連していないのかを説明 (Aレベル, Mレベル)
Technology		
Legal		
Market		
Reputation		
Acute physical		
Chronic physical		

3つ以上について[Relevant, always included]を選択 (Lレベル)

1つ以上について[Relevant, always included]または[Relevant, sometimes included]を選択 (Aレベル, Mレベル)

(Aレベル, Mレベル)

2列全て回答してください（[Not evaluated]を選択した場合、説明は不要です。）

※ C2.2aのAレベルで満点を取得していることが、後続のC2.3aのMレベルで評価を受けるための前提条件となります。



C2.2g なぜ、気候関連リスクと機会を特定、評価、および対応するためのプロセスを導入していないのですか、また将来そのようなプロセスを導入する予定はありますか

※C2.1で[No]を選択

Primary reason	Please explain
Select from:	Text field [maximum 1,500 characters]
<div><div><div>We are planning to introduce a climate-related risk management process in the next two years</div><div>Important but not an immediate business priority</div><div>Judged to be unimportant, explanation provided</div><div>Lack of internal resources</div><div>Insufficient data on operations</div><div>No instruction from management</div><div>Other, please specify</div></div><div><div>Aレベル</div><div>Mレベル</div><div>Aレベル</div></div></div>	<div><div>なぜそのようなプロセスがないのか、今後そのようなプロセスを作成する具体的な計画とその作成のスケジュール。</div><div>気候関連リスクが生じた時に対処する方法</div></div> <div><div>[We are planning to introduce a climate-related risk management process in the next two years]が選択されている場合</div><div>今後2年以内にプロセスを導入する計画について説明 (Mレベル)</div></div>

C2.2 スコアリング基準 (1/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.2 ※2.1 でYes	[対象となるバ リュエーション上の段階]欄 を記入 行の数と、記 入したセルの 数に比例して、 ポイントが付 与 - 最大5点		5	[対象となるバ リュエーション上の段階]欄 を記入 全列回答した 行の数に比例 して、ポイン トが付与 - 最 大3点		3	認識スコアが満点 i) 評価の頻度の欄で[年に複数回]または[年1 回]を選択 - 1点 ii) 対象となる時間軸の欄で2つ以上を選択 - 1 点 i, iiのポイントが付与されている場合、下記に 応じて追加点 iii) 重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす 可能性があるリスクと機会を特定するために 使用されたプロセスの説明を記入していて、 且つ、この説明が選択したドロップダウン選 択肢と一致 - 1点 iv) プロセスをどのように物理的リスクおよび/ または機会に適用したかのケーススタディ - 1 点 v) プロセスをどのように移行リスクおよび/ または機会に適用したかのケーススタディ - 1点		5	マネジメントスコ アが満点 以下のi, ii, iiiの全て を満たしている - 3 点 i) 評価の頻度欄で [年に複数回]を選択 ii) 対象となる時間 軸欄で[短期]、[中 期]、[長期]を選択 iii) リスク管理プロ セスの欄で[多専門 的全社的なリスク 管理プロセスへの 統合]を選択		3

C2.2 スコアリング基準 (2/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.2a ※2.1 でYes	[関連性および組み入れの有無]、[説明してください]の欄を両方回答 – 0.5点×8 [関連性および組み入れの有無]で[評価していない]を選択 – 0.5点		4	A) [関連性なし、理由を説明]を選択した場合、当該リスクが関係ない理由の明確な根拠を記入- 0.5点 B) [関連性はあるが、評価に含めていない]または[評価していない]を選択するか、もしくは何も選択しない- 0点 C) 上記以外の選択肢を選択し、説明を記述- 0.5点		4	<u>少なくとも1つのリスクは[関連性あり、常に評価に含めている]または[関連性あり、時々評価に含めている]を選択</u> A) [関連性あり、時々評価に含めている]または[関連性はないが、評価に含めている]を選択し、説明欄でリスクの事例を記載 - 0.5点 B) [関連性なし、理由を説明]を選択し、説明欄で当該リスクが自社に関係がない理由の説明を記載 - 0.5点		4	マネジメントスコアが満点 3つ以上のリスクについて[関連性があり、常に評価に含めている]を選択している – 1点		1
2.2g ※2.1 でNo	各列それぞれ回答 - 1点×2		2	<u>情報開示スコアが満点</u> 主な理由欄で、[2年以内に導入予定]または[その他、具体的に回答]を選択 – 1点		1	<u>情報開示スコアが満点</u> 主な理由欄で[2年以内に導入予定]を選択し、説明欄で今後2年以内にプロセスを導入する計画を説明 – 3点 注) 8点満点中最大3点得点可能		8		0	1

C2.3 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性のある潜在的な気候関連リスクを特定しましたか

- 気候関連リスクを特定している
⇒ **[Yes]** を選択 ⇒ C2.3aへ
- 気候関連リスクを特定していない
⇒ **[No]** を選択 ⇒ C2.3bへ

以下のようなリスクがあるかを質問しています。

- C2.1bで示した重大な影響の定義に沿って重大な財務上または戦略面での影響をもたらす可能性がある
- 潜在的なリスク(リスク管理対策をしていない、考慮に入れない状況で存在するリスク)

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

この欄を回答していない場合、情報開示ポイントも、その後のポイントも付与されません

①リスクID	②バリューチェーンのどこでリスク要因が生じるか	③リスクの種類	④主な気候関連リスク要因	⑤主要な財務上の潜在的影響	⑥自社固有の内容	⑦時間的視点
Select from: • Risk1 - Risk100	Select from: • Direct operations • Upstream • Downstream	Select from: • Current regulation • Emerging regulation • Legal • Technology • Market • Reputation • Acute physical • Chronic physical	See drop-down options below	See drop-down options below	Text field [maximum 2,500 characters]	Select from: • Short-term • Medium-term • Long-term • Unknown
⑧可能性	⑨影響の程度	⑩財務上の潜在的影響額を回答可能か	⑪財務上の潜在的影響額	⑫財務上の潜在的影響額 – 最小	⑬財務上の潜在的影響額 – 最大	
Select from: • Virtually certain • Very likely • Likely • More likely than not • About as likely as not • Unlikely • Very unlikely • Exceptionally unlikely • Unknown	Select from: • High • Medium-high • Medium • Medium-low • Low • Unknown	Select from: • Yes, a single figure estimate • Yes, an estimated range • No, we do not have this figure	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places] C0.4の通貨の値としてください	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places] C0.4の通貨の値としてください	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places] C0.4の通貨の値としてください	
⑭財務上の影響額の説明	⑮リスク対応費用	⑯対応の内容と費用計算の説明	Comment			
Text field [maximum 2,500 characters]	C0.4の通貨の値としてください	om 0-999,999,999,999 using a	Text field [maximum 2,500 characters] Text field [maximum 2,500 characters]			

[Add Row]

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

③リスクの種類	④主な気候関連リスク要因
現在の規制	<ul style="list-style-type: none"> カーボンプライシングメカニズム 排出量報告義務の強化 既存の製品およびサービスに対する命令および規制 その他、具体的にお答えください
新たな規制	<ul style="list-style-type: none"> カーボンプライシングメカニズム 排出量報告義務の強化 既存の製品およびサービスに対する命令および規制 その他、具体的にお答えください
法的	<ul style="list-style-type: none"> 訴訟問題 その他、具体的にお答えください
技術	<ul style="list-style-type: none"> 既存の製品・サービスを排出量の少ないものに置換 新技術への投資失敗 低排出技術への移行 その他、具体的にお答えください
市場	<ul style="list-style-type: none"> 変化する顧客行動 マーケットシグナルの不確実性 原材料のコスト増加 その他、具体的にお答えください

③リスクの種類	④主な気候関連リスク要因
評判	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の嗜好の移り変わり セクターの非難 ステークホルダーの懸念または否定的なステークホルダーからのフィードバックの増加 その他、具体的にお答えください
急性の物理的リスク	<ul style="list-style-type: none"> サイクロンや洪水などの異常気象の重大性と頻度の上昇 山火事の可能性と重大性の上昇 その他、具体的にお答えください
慢性の物理的リスク	<ul style="list-style-type: none"> 降水パターンの変化や気象パターンの極端な変動 平均気温上昇 海面上昇 その他、具体的にお答えください

④主な気候関連リスク要因で選択した内容は、C2.2aで回答した内容と一致する必要があります。
(Lレベル)

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑤主要な財務上の潜在的影響

- 直接費の増加
- 間接費(運営費)の増加
- 資本支出の増加
- 与信リスクの増加
- 保険金請求債務の増加
- 商品およびサービスに対する需要減少に起因した売上減少
- 生産能力低下に起因した売上減少
- 資本へのアクセス減少
- 損金処理につながる資産価値または資産耐用年数の減少、資産減損、または既存資産の早期除却
- その他、具体的にお答えください

【用語の定義】

直接費	「商品またはサービスの販売コスト」。これらの費用は、特定の製品の製造または特定のサービスの提供に起因します。
間接費 (運営費)	賃金、賃料、輸送、エネルギー（電気、燃料など）、メンテナンスなど、ビジネスを維持するために発生する必須の費用を指します。これらの費用は、特定の製品の製造や特定のサービスの提供に帰することはできません。これらの費用は、製品の生産量に関係なく発生する標準的な費用です。
資本支出	地所、建物、産業プラント、技術、設備などの固定資産の価値の尺度。CAPEXは、支出として収支計算書に計上するのではなく、投資としてバランスシートに計上するあらゆる種類の費用です。
資本へのアクセス	企業の売上およびその他の収益以外のソースからのキャッシュフロー。これには、投資家からの現金注入、または銀行や他の貸し手の融資枠の確保が含まれます。

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑥自社固有の内容

自社固有の内容とは、同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的な影響、自社の具体的な活動、固有の製品／サービスを含む記述です。

自社固有の内容 = Mレベル

不十分な回答例	0点	平均的な回答例	0点	良い回答例	得点
平均気温の上昇は、当社の事業に悪影響を及ぼす可能性があります。		平均気温の上昇により、空調や冷却設備に必要なエネルギー消費量が増加し、コストが上昇する恐れがあります。当社の店舗、事務所、流通センターでは、エネルギー消費量が増加するという特別なリスクがあります。		当社の工場の60%は、平均気温の大幅な上昇の影響を受けやすいとされている中央アメリカにあります。効率的に稼働を続けるためには、気温上昇によって空調および冷却設備に必要とされるエネルギー消費が15~20%増加すると考えられます。これにより、事業全体で運用コストが約20%増加します。	

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑦時間的視点	⑧可能性	⑨影響の程度
<ul style="list-style-type: none"> Short-term (短期) Medium-term (中期) Long-term (長期) Unknown (不明) <p>※C2.1aへの回答を基にご判断ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Virtually certain/ほぼ確実 (99-100%) Very likely:/可能性が非常に高い (90-100%) Likely/可能性が高い (66-100%) More likely than not/5割を超える確率で (50-100%) About as likely as not/可能性がおよそ5割 (33%-66%) Unlikely/可能性が低い (0-33%) Very unlikely/可能性が非常に低い (0-10%) Exceptionally unlikely/可能性が並外れて低い (0-1%) Unknown/不明 	<ul style="list-style-type: none"> High (高い) Medium-high (やや高い) Medium (中程度) Medium-low (中程度～低い) Low (低い) Unknown (不明)

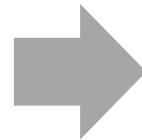
可能な限り、Unknown (不明) 以外を選択してください。 (Aレベル)

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑩財務上の潜在的影響額を回答可能か

- Yes, a single figure estimate
(はい、単一の推計値)
- Yes, an estimated range
(はい、推定範囲)



⑪財務上の潜在的
影響額



⑫財務上の潜在的
影響額 – 最小

⑬財務上の潜在的
影響額 – 最大

(Mレベル)

⑭財務上の影響額の説明

- ⑪／⑫&⑬で回答した数値について、以下も踏まえて内訳と共に説明してください。
- ⑤主要な財務上の潜在的影響で選択した内容と矛盾していない
 - 計算に使用したアプローチ
 - 算定の根拠となる数字
 - 算定の際に設定した仮定とその仮定が妥当である根拠
 - 内訳は定量的であることが望ましいですが、機密性の観点から開示できない場合には定性的な内訳をご記載ください。定性的な内訳として、どういった要素が最終的な財務影響額の中で考慮されたのか文章でお示しください。

- No, we do not have this figure
(いいえ、このデータはありません)



⑪～⑬への回答は不要

※この場合でも⑭への回答は必要となります。財務影響について定性的でよいのでご説明ください。定性的な回答もできない場合にはその旨や理由をご説明ください。

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑮リスク対応費用	⑯対応の内容と費用計算の説明	Mレベル
リスク対応費用の金額を記載	<ul style="list-style-type: none">計算に使用された数値を含め、内訳を示しながら、リスクを管理するための費用金額を計算した方法について記述リスクに対処することを目的とした、自社固有の活動、プロジェクト、製品、および/またはサービスに関する ケーススタディ の記述	

- 対応費用の内訳は定量的であることが望ましいですが、機密性の観点から開示できない場合には定性的な内訳をご記載ください。定性的な内訳として、こういった要素が⑮に示されている最終的な費用の中で考慮されたのか文章でご説明ください
- ケーススタディを書く際は、冒頭でご紹介したSTAR構造を意識していただければと思います。

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

複数のリスクについて回答する場合、[Add row]をクリックして回答欄を増やしてください。

3つ以上のリスクについて回答いただくことで満点を獲得することができます。

	情報開示 (配点12点)	認識 (配点12点)	マネジメント (配点15点)	リーダーシップ (配点3点)
3つ未満の リスクを開示	各リスクについて、 回答した <u>セルの数に 比例して4点満点</u> で得 点を付与	各リスクについて、採 点基準を満たした <u>行に 対して4点</u> を付与	各リスクについて、採 点基準を満たした <u>行に対して5点満 点で得点</u> を付与	各リスクについて、採 点基準を満たした <u>行に対して1点 満点で得点</u> を付与
3つ以上の リスクを開示	各リスクについて、 回答した <u>セルの数に 比例して[12/回答リ スク数]を満点</u> として 得点を付与	各リスクについて、採 点基準を満たした <u>行に 対して[12/回答リス ク数]の得点</u> を付与	<u>高得点となるリス クについて上位3つ</u> を採用（各リスク5 点満点で得点を付 与）	<u>高得点となるリス クについて上位3 つ</u> を採用（各リス ク1点満点で得点 を付与）

※3つ以上のリスクを開示した場合、MレベルとLレベルで採点に使用されるリスクは同一のものとなります。

C2.3b なぜ、御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性がある気候関連リスクにさらされると考えていないのですか

※C2.3で[No]を選択

Primary reason	Please explain
Select from: <ul style="list-style-type: none">Risks exist, but none with potential to have a substantive financial or strategic impact on businessEvaluation in processNot yet evaluatedOther, please specify	Text field [maximum 2,500 characters]

Aレベル

- 御社が気候関連リスクにさらされていない理由の明確な根拠および自社固有の説明 - 3ポイント
- 御社が気候関連リスクにさらされない理由を評価するために使用された/使用されているプロセスの説明

(Mレベル)

マネジメントレベルが満点の場合、リーダーシップポイントを獲得することができます。

リスクにさらされていないことを明確に説明できる場合には、C2.3aでリスクを回答いただくのと同様にリーダーシップポイントが付与されます。

C2.3 スコアリング基準 (1/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.3	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
2.3a ※2.3 でYes	<p>[バリューチェーンのどこでリスク要因が生じるか]を回答</p> <p>開示した行数と、記入したセルの数に比例して、ポイントが付与-1行最大4点（合計12点まで）</p>		12	<p>[対応費用]と[対応の内容と費用の説明]を除く欄について、[時間的視点]、[可能性]、[影響の程度]でいずれも[不明]を選択せずに全欄を回答している行について、開示した行に比例してポイントが付与-1行最大4点（合計12点まで）</p>		12	<p>C2.2、C2.2aの認識スコアが満点</p> <p>i) [自社固有の内容]で自社固有の記述をしている-1点</p> <p>ii) [主要な財務上の潜在的影響]で選択した内容が、[財務上の潜在的影響額]と[財務上の潜在的影響額の説明]の内容と矛盾していない-1点</p> <p>iii) [財務上の潜在的影響額の説明]で、回答ガイダンスに記載の内容を含めて内訳と共に説明-1点</p> <p>iv) [対応の内容と費用の説明]で自社固有のリスクに対応した内容のケーススタディを記述-1点</p> <p>v) [リスク対応費用]を回答しており、回答ガイダンスに記載のとおり、計算に使用された数値を含め、内訳を示しながら、リスクを管理するための費用金額を計算した方法について記述-1点</p>		15	<p>[主な気候関連リスク要因]で選択した内容が、<u>C2.2aの回答と一致している</u></p> <p>マネジメントスコアが満点のリスク-1点</p>		3



C2.3 スコアリング基準 (2/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.3b ※2.3 でNo	各列それぞれ 回答 - 1点×2		2	全ての列に回答し、 [主な理由]欄で [リス クは存在するが、重 大な財務上または戦 略上の影響を及ぼす 可能性があるものは ない]または[評価中] を選択 - 1点		1	<u>C2.2、C2.2aの認識スコアが満点</u> i) 御社が気候関連リスクにさらされてい ない理由の明確な根拠および自社固有の説明 - 3点 ii) 御社が気候関連リスクにさらされない 理由を評価するために使用された/使用さ れているプロセスの説明 - 1点		4	マネジメントス コアが満点 - 1点		1

C2.4 御社の事業に重大な財務上・戦略上の影響を及ぼす可能性がある気候関連機会を特定したことがありますか

- 気候関連機会を特定しており、実現できている
⇒ [Yes] を選択 ⇒ C2.4aへ
- 気候関連機会を特定しているが実現できていない／機会を特定していない
⇒ [Yes, we have identified opportunities but are unable to realize them]
／ [No] を選択 ⇒ C2.4bへ

以下のいずれの機会でも回答いただくことができます。

- 現在経験している／将来発生することが予想される
- 管理されている／新たに特定されている
- 機会が現実となる可能性と事業に影響を及ぼす度合いに関して、よく理解している／不確実性が高い

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

①リスクID	②バリューチェーンのどこで機会要因が生じるか	③機会の種類	④主な気候関連機会要因	⑤主要な財務上の潜在的影響	⑥自社固有の内容	⑦時間的視点
Select from: • Opp1 - Opp100	Select from: • Direct operations • Upstream • Downstream	Select from: • Resource efficiency • Energy source • Products and services • Markets • Resilience			Text field [maximum 2,500 characters]	Select from: • Short-term • Medium-term • Long-term • Unknown

⑧可能性	⑨影響の程度	⑩財務上の潜在的影響額を回答可能か	⑪財務上の潜在的影響額	⑫財務上の潜在的影響額 – 最小	⑬財務上の潜在的影響額 – 最大
Select from: • Virtually certain • Very likely • Likely • More likely than not • About as likely as not • Unlikely • Very unlikely • Exceptionally unlikely • Unknown	Select from: • High • Medium-high • Medium • Medium-low • Low • Unknown	Select from: • Yes, a single figure estimate • Yes, an estimated range • No, we do not have this figure	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places] C0.4の通貨の値としてください	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places] C0.4の通貨の値としてください	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places] C0.4の通貨の値としてください

⑭財務上の影響額の説明	⑮機会実現費用	⑯機会実現戦略の内容と費用計算の説明	Comment
Text field [maximum 2,500 characters]	Nur ma: C0.4の通貨の値としてください a		Text field [maximum 2,500 characters]

この欄を回答していない場合、情報開示ポイントも、その後のポイントも付与されません

[Add Row]

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

③機会の種類	④主な気候関連機会要因
リソースの効率	<ul style="list-style-type: none"> より効率的な輸送方法の使用 より効率的な生産および物流プロセスの使用 リサイクルの利用 より効率的な建物への移転 水の使用と消費の削減 その他、具体的にお答えください
エネルギー源	<ul style="list-style-type: none"> 低排出量エネルギー源の使用 支援的政策のインセンティブ使用 新技術の使用 炭素市場への参加 分散的エネルギー生成への移行 その他、具体的にお答えください
製品およびサービス	<ul style="list-style-type: none"> 低排出量商品およびサービスの開発および/または拡張 気候適応、強靱性、および保険リスクへのソリューション開発 R&D及び技術革新を通じた新製品やサービスの開発 事業活動を多様化する能力 消費者の嗜好の移り変わり その他、具体的にお答えください

③機会の種類	④主な気候関連機会要因
市場	<ul style="list-style-type: none"> 新市場への参入 公共セクターのインセンティブ使用 保険適用が必要な新たな資産および所在地への利用 その他、具体的にお答えください
レジリエンス	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギープログラムへの参加および省エネ対策の適応 リソースの代替/多様化 その他、具体的にお答えください

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

⑤主要な財務上の潜在的影響

- 直接費の減少
- 間接費(運営費)の減少
- 商品とサービスに対する需要増加に起因する売上増加
- 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加
- 生産能力増強に起因する売上増加
- 資本へのアクセス増加
- 固定資産の価値上昇
- 金融資産の多様性増加
- 低排出技術への投資に対するリターン
- その他、具体的にお答えください

【用語の定義】

直接費	「商品またはサービスの販売コスト」。これらの費用は、特定の製品の製造または特定のサービスの提供に起因します。
間接費 (運営費)	賃金、賃料、輸送、エネルギー（電気、燃料など）、メンテナンスなど、ビジネスを維持するために発生する必須の費用を指します。これらの費用は、特定の製品の製造や特定のサービスの提供に帰することはできません。これらの費用は、製品の生産量に関係なく発生する標準的な費用です。
資本へのアクセス	企業の売上およびその他の収益以外のソースからのキャッシュフロー。これには、投資家からの現金注入、または銀行や他の貸し手の融資枠の確保が含まれます。

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑥ 自社固有の内容

自社固有の内容 = Mレベル

不十分な回答例	平均的な回答例	良い回答例	得点
<p>気候変動の結果としての商品やサービスに対する需要の増加は、当社にとって評判上の好影響がもたらされる可能性があります。</p>	<p>気候変動によって評判上の好影響がもたらされる可能性があります。当社は自社製品の持続可能性へのコミットメントについて消費者に知らせるためにさまざまな情報プログラムに積極的に取り組んできました。</p>	<p>当社の実績を考えると、気候変動によって評判上の好影響がもたらされる可能性があり、その結果、商品やサービスに対する需要が高まります。当社ブランドが持続可能であると認識されるようにするために、消費者とさまざまな情報プログラムに積極的に取り組んできました。この取り組みの例としては、梱包に関する直接キャンペーン（2018年にはすでに当社の製品の75%の梱包材に持続可能性に関する情報記載しました。）や、当社施設の30%を再生可能エネルギーとするための太陽光発電の導入といったさまざまな持続可能性プログラムがあります。競合他社はそのような取り組みを実施しておらず、気候変動への意識が消費者にとってより大きな問題になるにつれて、店頭販売とオンライン販売の両方が増加すると予測しています。</p>	<p>0点</p>

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

⑦時間的視点	⑧可能性	⑨影響の程度
<ul style="list-style-type: none"> Short-term (短期) Medium-term (中期) Long-term (長期) Unknown (不明) <p>※C2.1aへの回答を基にご判断ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Virtually certain/ほぼ確実 (99-100%) Very likely:/可能性が非常に高い (90-100%) Likely/可能性が高い (66-100%) More likely than not/5割を超える確率で (50-100%) About as likely as not/可能性がおよそ5割 (33%-66%) Unlikely/可能性が低い (0-33%) Very unlikely/可能性が非常に低い (0-10%) Exceptionally unlikely/可能性が並外れて低い (0-1%) Unknown/不明 	<ul style="list-style-type: none"> High (高い) Medium-high (やや高い) Medium (中程度) Medium-low (中程度～低い) Low (低い) Unknown (不明)

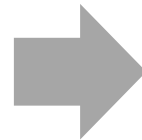
可能な限り、Unknown (不明) 以外を選択してください。 (Aレベル)

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

⑩財務上の潜在的影響額を回答可能か

- Yes, a single figure estimate
(はい、単一の推計値)
- Yes, an estimated range
(はい、推定範囲)



⑪財務上の潜在的
影響額



⑫財務上の潜在的
影響額 – 最小

⑬財務上の潜在的
影響額 – 最大

(Mレベル)

⑭財務上の影響額の説明

- ⑪／⑫&⑬で回答した数値について、以下も踏まえて内訳と共に説明してください。
- ⑤主要な財務上の潜在的影響で選択した内容と矛盾していない
 - 計算に使用したアプローチ
 - 算定の根拠となる数字
 - 算定の際に設定した仮定とその仮定が妥当である根拠
 - 内訳は定量的であることが望ましいですが、機密性の観点から開示できない場合には定性的な内訳をご記載ください。定性的な内訳として、こういった要素が最終的な財務影響額の中で考慮されたのか文章でお示しください。

- No, we do not have this figure
(いいえ、このデータはありません)



⑪～⑬への回答は不要

※この場合でも⑭への回答は必要となります。財務影響について定性的でよいのでご説明ください。定性的な回答もできない場合にはその旨や理由をご説明ください。

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

⑮機会実現費用	⑯機会実現戦略の内容と費用計算の説明
機会実現費用の金額を記載	<ul style="list-style-type: none"> 計算に使用された数値を含め、内訳を示しながら、機会を実現するための費用金額を計算した方法について記述 機会を実現することを目標とする自社固有の取組、プロジェクト、製品および/またはサービスを説明する ケーススタディ の記述

Mレベル

- 機会実現費用の内訳は定量的であることが望ましいですが、機密性の観点から開示できない場合には定性的な内訳をご記載ください。定性的な内訳として、こういった要素が⑮に示されている最終的な費用の中で考慮されたのか文章でご説明ください
- ケーススタディを書く際は、冒頭でご紹介したSTAR構造を意識していただければと思います。

C2.4a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を記入してください。

※C2.4で[Yes]を選択

複数の機会について回答する場合、[Add row]をクリックして回答欄を増やしてください。

3つ以上の機会について回答いただくことで満点を獲得することができます。

	情報開示 (配点12点)	認識 (配点12点)	マネジメント (配点15点)	リーダーシップ (配点3点)
3つ未満の機会を開示	各機会について、回答した <u>セルの数に比例して4点満点</u> で得点を付与	各機会について、採点基準を満たした <u>行に対して4点</u> を付与	各機会について、採点基準を満たした <u>行に対して5点満点で得点</u> を付与	各機会について、採点基準を満たした <u>行に対して1点満点で得点</u> を付与
3つ以上の機会を開示	各機会について、回答した <u>セルの数に比例して[12/回答機会数]を満点</u> として得点を付与	各機会について、採点基準を満たした <u>行に対して[12/回答機会数]の得点</u> を付与	<u>高得点となる機会について上位3つ</u> を採用（各機会5点満点で得点を付与）	<u>高得点となる機会について上位3つ</u> を採用（各機会1点満点で得点を付与）

※3つ以上の機会を開示した場合、MレベルとLレベルで採点に使用される機会は同一のものとなります。



C2.4b なぜ、御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性がある気候関連リスクにさらされると考えていないのですか

※C2.4で[Yes, we have identified opportunities but are unable to realize them]／[No]を選択

Primary reason	Please explain
Select from: <ul style="list-style-type: none">Opportunities exist, but we are unable to realize themOpportunities exist, but none with potential to have a substantive financial or strategic impact on businessEvaluation in progressJudged to be unimportantNo instruction from management to seek out opportunitiesNot yet evaluatedOther, please specify	Text field [maximum 2,500 characters]

Aレベル

- 御社が気候関連機会を有していない理由の明確な根拠および**自社固有**の説明 - 3ポイント
- 御社が気候関連機会を有していない理由を評価するために使用された/使用されているプロセスの説明 (Mレベル)

マネジメントレベルが満点の場合、リーダーシップポイントを獲得することができます。
機会を有していないことを明確に説明できる場合には、C2.4aで機会を回答いただくのと同様にリーダーシップポイントが付与されます。

C2.4 スコアリング基準 (1/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.4	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
2.4a ※2.4 でYes	<p>[バリューチェーンのどこで機会要因が生じるか]を回答</p> <p>開示した行の数と、記入したセルの数に比例して、ポイントが付与-1行最大4点（合計12点まで）</p>		12	<p>[対応費用]と[対応の内容と費用の説明]を除く欄について、[時間的視点]、[可能性]、[影響の程度]でいずれも[不明]を選択せずに全欄を回答している行について、開示した行に比例してポイントが付与-1行最大4点（合計12点まで）</p>		12	<p>i) [自社固有の内容]で自社固有の記述をしている-1点</p> <p>ii) [主要な財務上の潜在的影響]で選択した内容が、[財務上の潜在的影響額]と[財務上の潜在的影響額の説明]の内容と矛盾していない-1点</p> <p>iii) [財務上の潜在的影響額の説明]で、回答ガイダンスに記載の内容を含めて内訳と共に説明-1点</p> <p>iv) [機会実現戦略の内容と費用の説明]で自社固有の機会に対応した内容のケーススタディを記述-1点</p> <p>v) [機会実現費用]を回答しており、回答ガイダンスに記載のとおり、計算に使用された数値を含め、内訳を示しながら、機会を実現するための費用金額を計算した方法について記述-1点</p>		15	<p>マネジメントスコアが満点の機会-1点</p>		3



C2.4 スコアリング基準 (2/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
2.4b ※2.4 でYes 以外	各列それぞれ 回答 - 1点×2		2	全ての列に回答し、 [主な理由]欄で[機会 は存在するが、重大 な財務上または戦略 上の影響を及ぼす可 能性があるものはない] または[評価中]を 選択 - 1点		1	i) 御社が気候関連機会を有していない理由 の明確な根拠および自社固有の説明 - 3点 ii) 御社が気候関連機会を有していない理 由を評価するために使用された/使用され ているプロセスの説明 - 1点		4	マネジメントスコアが満点 - 1点		1

C2 セクター別質問に関する注意

対象セクター	質問	質問内容・スコアリング
FS	C2.2b ~ C2.2f	<ul style="list-style-type: none">セクター固有の質問です。スコアリング対象の質問です
	C2.3a, C2.4a	<ul style="list-style-type: none">質問内にセクター固有の質問や選択肢が設定されています。

詳細は、回答ガイダンスやスコアリング基準セクター別質問に記載のセクター別質問の項目をご覧ください。



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



一般的なお問合せ : japan@cdp.net

サプライチェーンに関するお問合せ : supplychain.japan@cdp.net

レポーターサービスに関するお問合せ : reporterservices.japan@cdp.net